

「横浜市スポーツ推進計画」素案に関する パブリックコメントの実施結果について

横浜市では、「横浜市スポーツ推進計画」を新たに策定するにあたり、パブリックコメントを実施しました。市民の皆様からの、貴重なご意見・ご提案に感謝します。

このたび、実施結果と市の考え方をまとめましたので、公表します。

1 横浜市スポーツ推進計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

（１）実施概要

意見募集期間	平成24年10月15日（月）から平成24年11月30日（金）
意見提出方法	郵送、FAX、電子メール
素案の公表場所	①素案本文及び概要版 各区役所広報相談係、市役所市民情報センター、 市民局スポーツ振興課、市民局スポーツ振興課ホームページ ②概要版のみ 各区スポーツセンター、横浜国際プール、横浜文化体育館、 平沼記念体育館、横浜ラポール

（２）実施結果

提出者数	79(団体2、個人77)	
提出方法	郵送1、FAX59、電子メール19	
意見数	249件	
項目別意見数	計画全般	114件
	序章	1件
	第1章スポーツを取り巻く現状と課題について	8件
	第2章スポーツ推進のビジョン	1件
	第3章スポーツを推進するための具体的な取組	102件
	用語集	6件
	その他	17件

3 ご意見への対応

(1) ご意見を反映し、素案を修正したもの	127件
(2) ご意見の趣旨が既に素案に含まれているもの	3件
(3) ご意見として、今後の参考とするもの	115件
(4) 素案にご賛同いただいたもの	4件

提出された意見の概要と意見に対する考え方

(1) ご意見を反映し、修正したもの(127件)

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
1	第1章スポーツを取り巻く現状と課題について 1 市民(地域)のスポーツ活動 地域で現在多くの競技指導や、スポーツ大会の開催運営を担っているのは各区体育協会所属の競技団体です。これを最初に十分に説明する必要があります。(2件)	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、1 市民(地域)のスポーツ活動に主な地域のスポーツ団体として「区体育協会」を追加しました。
2	第1章スポーツを取り巻く現状と課題について 7 プロスポーツチーム 「今後は、プロスポーツチームと連携・協力し、地域や学校等において、プロスポーツチームと触れ合う機会を提供することにより、プロスポーツチームを身近に感じてもらい、多くの市民にプロスポーツを観戦してもらう必要があります。」とありますが、強制的に「多くの市民にプロスポーツを観戦してもらう必要」は本当にあるのでしょうか？これは言い過ぎだと思います。 「今後は、プロスポーツチームと連携・協力し、地域や学校等において、プロスポーツチームと触れ合う機会を提供することにより、プロスポーツチームを身近に感じてもらい、多くの市民がプロスポーツを観戦することで、市民のスポーツへの関心をさらに高めていきます。」のように修正した方がいいと思います。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「今後は、プロスポーツチームと連携・協力し、地域や学校等において、プロスポーツチームと触れ合う機会を提供することにより、プロスポーツチームを身近に感じてもらい、多くの市民がプロスポーツを観戦することで、市民のスポーツへの関心をさらに高めていきます。」に修正しました。
3	第1章スポーツを取り巻く現状と課題について 図に「(n=〇〇)」の記載がありますが、「n」が何のことかわかりません。おそらくアンケートの回答数だと思いますが、それがわかるように各図の中に、「n=回答数」のように入れたほうが親切だと思います。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、修正しました。
4	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組3 「子どもの体力向上事業の実施及び拡充」に、「「ドッジビー」(ドッジボールのボールの代わりにフライングディスクを用いたスポーツ)など」とありますが、「フライングディスク」よくわかりません。わかりやすい用語にした方がイメージもつき、いいと思います。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、横浜市スポーツ推進計画用語に「フライングディスク」を追加しました。
5	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組7 食育は子ども、保護者、指導者と関係する全ての者に推進していく必要があると思います。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「教育委員会や食育関係団体と連携・協力しながら、子どもや保護者及び指導者等に食育の普及啓発を行っていきます。」に修正しました。
6	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組8 「トップアスリート等との連携・協力の推進」に、「JOCパートナー都市協定を通じてのオリンピックやプロスポーツチームあるいはトップアスリートが立ち上げたNPO法人等と連携・協力することにより、トップアスリートを学校や地域に派遣し、子ども達や多くの市民が一流のアスリートと触れ合う機会を提供します。」とありますが、「子ども達や多くの市民が一流のアスリートと触れ合う機会を提供する」ことが取組として掲げられていて、これが目標にもなってしまうように感じます。それが何を生むかも書いたほうがいいと思いますので、次のように修正してはいかがでしょうか。 「JOCパートナー都市協定を通じてのオリンピックやプロスポーツチームあるいはトップアスリートが立ち上げたNPO法人等と連携・協力することにより、トップアスリートを学校や地域に派遣し、子ども達や多くの市民が一流のアスリートと触れ合う機会を提供し、スポーツへの関心を高めます。」(2件)	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「JOCパートナー都市協定を通じてのオリンピックやプロスポーツチームあるいはトップアスリートが立ち上げたNPO法人等と連携・協力することにより、トップアスリートを学校や地域に派遣し、子ども達や多くの市民が一流のアスリートと触れ合う機会を提供し、スポーツへの関心を高めます。」に修正しました。

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
7	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 4 トップスポーツとの連携・協働の推進 市民のプロスポーツ観戦経験者の目標値50%以上を目指す上でもっとも大事なことは、その存在及び特にその試合日程等の認知度アップが最重要課題となっている。市とチームが連携した広報活動等を入れてほしい。(2件)</p>	<p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「取組31」に広報活動の充実を追加しました。</p>
8	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組31 「プロスポーツチームとの連携・協働」に、「地元プロスポーツチームが地域に密着した活動を行えるよう、各チームの状況に合わせた支援を行います。また、横浜熱闘倶楽部を通じて、学校や地域にプロのトップアスリートやコーチを招き、技術指導や講演会を行い、市民が直接プロのチームに触れる機会を提供します。」とありますが、「市民が直接プロのチームに触れる機会を提供」することが取組として掲げられていて、これが目標にもなってしまうているように感じます。それが何を生むかも書いたほうがいいと思いますので、次のように修正してはいかがでしょうか。 「地元プロスポーツチームが地域に密着した活動を行えるよう、各チームの状況に合わせた支援を行います。また、横浜熱闘倶楽部を通じて、学校や地域にプロのトップアスリートやコーチを招き、技術指導や講演会を行い、市民が直接プロのチームに触れる機会を提供し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、その技術も向上させます。」 (2件)</p>	<p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、修正しました。</p>
9	<p>横浜市スポーツ推進計画用語 「トップスポーツ」が他の用語と同列になっていることに違和感を感じます。トップスポーツという団体はないと思いますし、イメージがつきにくいので、スポーツ推進計画用語で説明するか、もう少しわかりやすい言葉で説明してください。(5件)</p>	<p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、横浜市スポーツ推進計画用語に「トップスポーツ」を追加しました。</p>
10	<p>構成・文章・文言 2文字以上の数字を半角に、文章や文字のずれなど(110件)</p>	<p>いただいたご意見の趣旨を踏まえ、修正しました。</p>

(2) ご意見の趣旨が既に素案に含まれているもの(3件)

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
1	<p>第1章スポーツを取り巻く現状と課題について スポーツに対する意識のなかで、図3 過去一年間のスポーツ／運動実施種目にヨガセラピスが載せられているが、全スポーツセンター教室参加者のトータルを再検証してください。太極拳が多いはずです。(2件)</p>	<p>図3 過去一年間のスポーツ／運動実施種目については、上位の種目を載せており、実際に調査した項目の中に、太極拳は入っています。調査項目については、次のとおりです。</p> <p>【スポーツ・運動選択肢】 1 散歩、2 ウォーキング、3 ランニング・ジョギング・マラソン、4 ラジオ体操、ストレッチなどの健康体操、5 ヨガ・ピラティス、6 エアロビクス・ジャズダンス、7 クラシックバレエ・モダンバレエ、8 フラダンス、9 社交ダンス、10 陸上競技、11 水泳、12 アクアエクササイズ、13 軽い球技、14 ボウリング、15 筋力トレーニング、16 バレーボール、17 バスケットボール、18 バドミントン、19 テニス、20 卓球、21 気功・太極拳、22 ハンドボール、23 野球、24 ソフトボール、25 サッカー、26 フットサル、27 ラグビー、28 ゴルフ、29 ゲートボール・グラウンドゴルフ、30 サイクリング・サイクルスポーツ、31 柔道・剣道・空手・相撲などの武道、32 ボクシングなどの格闘技、33 モータースポーツ、34 サーフィン・ウインドサーフィン・ヨット、35 カヌー・ボート 36 トライアスロン、37 アイススケート、38 スキー・スノーボード、39 スキンダイビング・スキューバダイビング、40 登山・ハイキングなど、41 キャンプなど野外活動、42 乗馬、43 釣り、44 その他</p>
2	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組3 総合型地域スポーツクラブの活動や趣旨について、是非市や区の広報誌で取り上げてください。総合型地域スポーツクラブがどんな目的で作られ、どんな活動をしているか知って頂く手段として市や区の広報へ掲載をお願いします。</p>	<p>「総合型地域スポーツクラブの活動や趣旨について、横浜市の広報紙やホームページに掲載するほか、啓発イベント等を行い、市民への周知を充実させていきます。」と記載しており、さらなる広報の充実を掲げています。</p>

(3)ご意見として、今後の参考とするもの(115件)

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
1	序章 4 計画の実現に向けた連携・協働体制 特に高齢者・障害者スポーツの推進の観点から図中に障害者スポーツ文化センター横浜ラポールを加える。	障害者スポーツ文化センター横浜ラポールは、横浜市の施設であるため、図の中では、横浜市の中に含まれます。
2	第1章市民スポーツ振興の現状と課題 第1章のページ9～10にあるように市民は「近所など通いやすいところにあれば」、「料金が安ければ」スポーツをやりたいと思っています。場所の確保をすればスポーツに取組、汗を流したいと思っています。	調査の結果から分かるとおり、横浜市は、全国と比べスポーツ施設が少ない状況です。 今後は、本来の目的に支障のない範囲で、市有地の未利用地、遊水地など、市内の様々な地域資源を柔軟に活用し、スポーツの場をつくるよう、努めていきます。 なお、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
3	第1章市民スポーツ振興の現状と課題 (2)運動部・スポーツクラブの加入 部活動に対する先生方の負担が大きいことは理解しておりますが、人格形成等に非常に重要な時期である中学生を指導する立場であれば、教師の人間性、教育観、スポーツに関する安全面等の知識を身につける必要があると思います。そういった部分が欠けている教師1人に部活動を任せることはリスクがあり、複数の指導者で運営することが必須だと考えます。社会的にも色々な経験があり、生徒に技術だけではなく、人生のアドバイスが出来るような外部の人材を入れることは大切だと思います。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
4	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組1 子どもの体力低下が深刻な問題になっている現在、幼稚園・保育園などでの運動への取り組みは大変重要であり、「スポーツ指導者を派遣し遊びながら身体を動かす楽しさを伝えていく事業」は本当に必要な事業だと思います。今回新たな取り組みとなる「保育園・幼稚園へのスポーツ指導者派遣事業」は、総合型地域スポーツクラブに事業を活用(委託)してください。	いただいたご意見は、取組を実施していくうえで、今後の参考とさせていただきます。
5	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組5 少子化に伴い生じた空き教室や体育館の空き時間を地域住民に開放することは難しいのでしょうか？ 歩いて通える距離にあり地域住民にとって身近な施設といえば小・中学校です。 通いやすい環境があれば、スポーツ人口はもっと増えるでしょうから、学校を地域のコミュニティーの場としておおいに利用すべきだと思います。	教育施設として、一定の制約はありますが、地域団体や文化・スポーツクラブと連携することにより、学校体育施設の利用を促進し、地域に開かれた学校づくりを目指していきます。 なお、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
6	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組6 優秀な指導者がいればその学校は強くなれます。また、指導を受けた者は確かな技術と理論を身に付けることが出来ます。優秀な選手を育て、その選手がいつかは指導者として横浜に帰ってくる道筋を作っていただきたいと思います。「組織の財産」は優秀な人材です。一人でも多くの人材を確保できるよう指導者の育成に力をいれたいと思います。	いただいたご意見は、取組を実施していくうえで、今後の参考とさせていただきます。
7	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組16 スポーツボランティアの支援に関して横浜市オリジナルのスポーツボランティアライセンス制度を構築する。横浜市としてライセンスの枠組みを統一する。	いただいた意見は、取組を実施していくうえで、今後の参考とさせていただきます。

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
8	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組19、20 スポーツ施設を整備してほしい。(6件) ・学校予定地などを活用して、簡易な体育館の新設 ・キャプテン翼スタジアムに替わる施設を整備してほしい。 ・プロスポーツが観やすいスタジアム作り(みなとみらいエリアへ4万人規模のサッカー専用スタジアムの建設) ・子ども達のスポーツを行う施設が不足 など</p>	<p>市民の皆様が身近な場所でスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設の整備に取り組んでまいりました。 また、公園では、地域でスポーツなどに利用できる多目的な広場をはじめ、野球場、テニスコートなどを整備しています。 今後も、本来の目的に支障のない範囲で、市有地の未利用地、遊水地など、市内の様々な地域資源を柔軟に活用し、スポーツの場をつくるよう、努めていきます。</p>
9	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組20 市立武道館を建設してほしい(74件) ・総合体育館における武道施設の建設ではなく、「武道館」の建設が必要である。(武道は単なるスポーツではない。) ・武道をする場所がない(大きな大会が開催できない) ・中学校の武道必修化に伴い、武道館の建設が必要である。 ・武道館が建設されれば、武道の行事だけではなく、地域の活性化や非常時の避難場所にもなる。</p>	<p>横浜には、大規模な大会を開催できる施設として、横浜文化体育館や冬季のみ体育館として利用できる横浜国際プールのみで、大規模な体育館が不足しています。 また、横浜文化体育館は、築50年が経過し、施設・整備の老朽化が進み、大会の運営に支障をきたしています。 今後は、関内・関外地区活性化推進計画の進展状況を踏まえ、横浜文化体育館の再整備について調査検討し、武道を行うことのできる環境整備について、この中で検討を行います。 なお、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組20 神奈川スケートリンクで趣味のスケートを楽しんでいます。県内にスケートリンクが少ないせいか、一般向けの営業時間が午後6時までと短く、土日にも常に混雑している状況です。仕事帰りなどにも利用できるよう、まず、リンクの数を増やしていただけないでしょうか。スケート人口がもっと増えるよう環境整備の推進を期待します。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。 なお、神奈川スケートリンクは、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が著しく進んでいることから、早期の建替えが必要です。貴重なスポーツ施設を守り続けていくため、また、市民の皆様が安全かつ快適に利用することができるようにするため、再整備が重要な課題であると認識しています。</p>
11	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組27 地域への障害者スポーツに関するノウハウの浸透では、横浜ラポールと連携・協力し、障害者スポーツを既存のスポーツ研修カリキュラムに取り入れていく。人材育成の研修対象者には、市体協、スポーツ推進委員、社協、地元の大学・企業等が挙げられる。</p>	<p>いただいた意見は、取組を実施していくうえで、今後の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組31 小学校への観戦の「授業化」・・・例：4年生になると必ず市の支援によりプロの試合の観戦会が実施される。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>第3章スポーツを推進するための具体的な取組 取組33 全国大会や世界大会を横浜で行ってほしい。(6件)</p>	<p>横浜市スポーツ推進計画に基づき、大規模スポーツイベントの誘致・開催に取り組んでまいります。</p>
14	<p>計画全般 高齢社会の元気行動向上を図ることで各スポーツ（健康スポーツ）の推進と高齢医療の予防対策とのコラボを広域観点策を充実される様、強く望むものである。（行政の横の政策関係確立を願う）</p>	<p>横浜市スポーツ推進計画は子どもから高齢者、障害者まで幅広い市民に対する計画となっており、本計画を推進するうえでは、市民局だけではなく、児童・生徒の体力づくりを所管している教育委員会、健康づくりを所管している健康福祉局等と一緒にこの計画を推進していきます。 また、住民が主体となったスポーツ推進のしくみづくりには、区役所との連携も必要となりますので、本計画上の個々の具体的な取り組みにあたり、区役所とも調整を図りつつ進めていきます。 なお、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
15	計画全般 スポーツセンター等を利用するに当たり、行政（特に、医療制度の予防策とのコラボ）の横の関係を密接にし、医療費予算の一部を、予防策の一端として、スポーツセンター利用料などの助成を願う。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます
16	その他 スポーツ施設への利便性の充実(市営バスの循環等)を図ってほしい。(3件)	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
17	その他 スポーツ施設の設備の充実(4件) ・音響設備や冷暖房設備を充実させてほしい。 ・老朽化の改善や屋根の設置(ニッパツ三ツ沢球技場)など	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
18	その他 グラウンドによってはグラウンドゴルフが使用対象競技から除外されています。 高齢者のグラウンドゴルフ人口が増え、さらに広く普及をさせて、高齢者の健康維持・増進と交流のためにもぜひ、公園、野球場、多目的広場、各種グラウンドが、グラウンドゴルフで使えるように使用対象競技の幅を広げていただきたいとお願いします。また、これはグラウンドゴルフだけではなく他の競技でも悩んでおられるので、適切な使用区分の検討をお願いします。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
19	その他 主人が町内会から依頼を受けて、スポーツ推進委員を五年ほど努めました。 ユニフォームの支給について疑問があります。任期毎に支給される新しいものでなく、任期終了後、返還してリサイクルしてはいかがですか？五年の間では、さして傷みません。破損したら、請求→支給という形で良いのではないかと思います。後ろにロゴが大きく書かれているので、任期終了後、プライベートで着ることもなく、非常にもったいなく感じます。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
20	その他 ベイスターズが市にとって観光上、市民の楽しみ等、重要であると認識しながら民間任せにするのはおかしい。 10%程度でも市が株を買い、市外にチームを移転させないようにするなど、市も努力すべきだと思う。金は出さないけれど、市に居てほしい、口は出すというのでは、企業が「勝手な事を」と思うのは当然でしょう大切な観光資源になり、観光客、雇用、周辺への店の売上、様々な効果を考えるなど100%買収しても良いはずです。(広島市の市民球団も良いでしょう) 市だけではなく、市民からも株を買ってもらえる球団になってほしいと願っております。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
21	その他 最近特に運動能力が落ちていることをとても感じています。 つまらないところで転んだり、自分の身体を障害物からかわす、とびこえる、大きさ等の感覚の無さに驚きます。そして歩くとすぐに根をあげます。また、公園の犬猫の糞尿の酷さと遊具のお粗末さは、子どもを遊ばせたくなくなります。子どもたちが安心して遊べる綺麗な管理のある公園を作りたいです。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
22	<p>その他 スポーツに興味がない人たちには、アプローチが大事だと思います。若年層から高齢層までを狙ったランニングイベントは非常に効果的なはず。より多くの人を引き付けるイベントには横浜ならではの特色を取り入れたスポーツイベントが必要となってくるのではないのでしょうか。 「横浜だからできること」ほど魅力的なスポーツ政策はないと思います。そしてこの素案をはじめ、このようなスポーツ計画は、市民にはまだまだ伝わっていないのではないのでしょうか。まずこの計画を知ってもらうにはどうしたらいいか、少なくともウェブ上だけでは足りないと感じます。市民に親しみやすく、よりわかりやすい方法でこの計画を進めていってほしいです。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。また、横浜市スポーツ推進計画については、ホームページ上だけではなく、様々な場所で周知をしていきたいと考えています。</p>
23	<p>その他 社交ダンススポーツを活動することで強く感じることに、小学校、中学校での児童・生徒に、この社交ダンススポーツを授業に採用を強く望む。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>その他 現在、公共のスポーツ施設を利用するには「横浜市市民利用施設予約システム」に申し込みをし、抽選により利用が可能になります。 総合型地域スポーツクラブが地域住民を対象としたイベントを行おうとした場合、施設の抽選結果が出てからでは、広く市民・区民に呼びかけたくても、広報紙のページにも間に合わず十分な広報活動ができないのが現状です。 多目的・多世代を基本とした総合型地域スポーツクラブは、競技団体ではないため体協加盟団体とはなりません。だからと言って他のスポーツサークル団体と同じなのではないのでしょうか？ 総合型地域スポーツクラブの位置づけも含め、是非ご検討いただきたいと思います。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
25	<p>その他 現在の「はまっ子ふれあいスクール」を現行の枠を広げて、各種スポーツ教室を設け、年齢も幼稚園に下げ、幼少期から本格的に鍛えるプログラムがあると、小学校高学年からのクラブ活動の参加にもつながる上に、働くお母さんの助けにもなるのではないのでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
26	<p>その他 高齢者等にとっては身近な公園等で（サンダルばきで行ける）体操や歩く事などが出来る場所の提供が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
27	<p>その他 放課後児童育成事業へのスポーツ分野での一層の協力を期待します。スポーツ関連のイベントや講師派遣は、事業運営への大きな効果になります。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

(4)素案にご賛同いただいたもの(4件)

NO	いただいたご意見(概要)	考え方・対応
1	計画全般 スポーツ推進の計画またビジョン等は賛成です。頑張ってください。	横浜市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの推進に取り組んでまいります。
2	計画全般 内容にはおおむね賛同しますし、この計画にあるような目標をたて、それを目指してスポーツ施策を進めることはいいことだと思います。	横浜市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの推進に取り組んでまいります。
3	第2章スポーツ推進のビジョン 「2 スポーツ推進の基本目標」に、「横浜市においても平成24年度から横浜市体育協会と横浜市レクリエーション協会の統合が行われており」とありますが、このように外郭団体を統合するのはすばらしいことだと思います。類似の外郭団体は、どんどん整理した方がいいと思います。	横浜市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの推進に取り組んでまいります。
4	第3章スポーツを推進するための具体的な取組 賛成です。中学校で武道が取り入れられているので、武道を行える環境整備がより必要になっていると思います。大きな大会が横浜で行われることで経済効果もあるし、トップクラスの選手を間近でみることで関心も高まり、スポーツ、武道の推進に役立つと思います。	横浜市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの推進に取り組んでまいります。